



取扱説明書

MODEL #500384-J

22Mpa (3200 PSI)

高压洗浄機



本取扱説明書を読み、保存してください。本取扱説明書には、重要な安全注意事項が記載されています。これを怠ると、重傷を負う可能性があります。本取扱説明書は製品と一緒に保管してください。本取扱説明書に記載されている仕様、説明、イラストは、発行時点で判明している限り正確なものですが、予告なく変更されることがあります。

目次

はじめに	3	保管	18
安全に関する定義	3	高圧洗浄機の保管	18
安全に関するマーク	4	30日以内の保管	19
重要な安全上の注意	5	30日以上保管	19
コントロールと機能	8	冬期の保管	19
付属部品	9	仕様	20
組み立て	9	高圧洗浄機の仕様	20
外箱から高圧洗浄機を取り出す	9	エンジンの仕様	20
ハンドルを下部フレームに取り付ける	9	オイルの仕様	20
エンジンオイルの追加	10	燃料の仕様	20
燃料の追加	11	スパークプラグの仕様	20
トリガーガンの取り付け	11	バルブの仕様	20
高圧ホースの接続	12	温度に関する重要なお知らせ	20
ガーデンホースの接続	12	部品図	21
操作	13	部品リスト	22
高圧洗浄機の設置場所	13	エンジン部品図	23
エンジンを始動する前に	13	エンジン部品リスト	24
エンジンを始動する	13	トラブルシューティング	26
洗浄面からの距離	13		
高圧洗浄	14		
低圧洗浄	14		
システムの洗浄	15		
システムの減圧	15		
操作のヒント	15		
エンジンの停止	16		
高地での操作	16		
メンテナンス	16		
高圧洗浄機の清掃	17		
エンジンオイルの交換	17		
スパークプラグの清掃と調整	17		
エアフィルターの清掃	17		
スパークアレスターの清掃	18		
ガバナーの調整	18		
メンテナンススケジュール	18		

はじめに

このたびは、Champion Power Equipment(CPE)製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。CPEのすべての製品は、厳格な仕様とガイドラインに基づいて設計、製造、サポートされています。適切な製品知識、安全な使用、定期的なメンテナンスにより、この製品は長年にわたって満足のいくサービスを提供いたします。

本取扱説明書に記載されている情報の正確性と完全性を確保するためにあらゆる努力を払っていますが、当社は事前の通知なしにいつでも製品および本書を変更、変更、および/または改良する権利を留保します。

CPEは、当社の製品がどのように設計、製造、操作、およびサービスされているかを非常に重視しており、また、お客様および他の人々の安全を非常に重視しています。

本製品を使用される前に、本製品取扱説明書およびその他の製品資料をよくお読みいただき、本製品の組み立て、操作、危険性、メンテナンスについて十分な知識と認識をお持ちください。また、本製品を使用される他の方々にも、使用前に必ず本製品の安全性と操作方法について十分理解していただくようお願いいたします。本製品を使用する際は、事故や物的損害、人身事故が発生しないよう、常識の範囲内で慎重に行ってください。CPE製品を末永くご愛用ください。

部品および/またはサービスに関してサポートデスクに連絡する場合、製品の完全なモデル番号とシリアル番号を提供する必要があります。製品の銘板ラベルに記載されている情報を以下の表に転記してください。

チャンピオンジャパンサポート

技術サポート 03-6435-9581
部品購入に関して 092-980-5028

型番

500384-J

シリアル番号

購入年月日

購入場所

安全に関する定義

安全シンボルの目的は、起こりうる危険に注意を促すことです。安全シンボルとその説明には、十分な注意と理解が必要です。安全警告は、それ自体で危険を排除するものではありません。安全シンボルが示す指示や警告は、適切な事故防止対策の代用となるものではありません。

▲ 危険

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る危険な状況を示します。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うであろう内容を示しています。

▲ 警告

このマークは、回避しなければ死亡または重傷に至る危険な状況を示します。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

▲ 注意

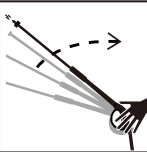
このマークは、この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

🗨 注意

このマークは、身体的傷害とは関係のない行為に対処するために使用されます。

安全に関するマーク

本製品には、以下のような記号が使用されている場合があります。これらの記号の意味をよく理解し、正しくお使いください。これらの記号を正しく理解することで、より安全に製品を操作することができます。

	取扱説明書を読む。 けがの危険を減らすため、本製品を使用する前に必ず取扱説明書を読み、理解してください。
	感電。 乾燥した環境で使用し、安全な手順を守らないと感電する恐れがあります。
	有毒ガス。 本製品から排出されるエンジン排気ガスには、癌や先天性異常、その他の生殖障害を引き起こすことが知られている化学物質が含まれていることが報告されています。 窒息の危険。 本エンジンからは、無臭、無色の毒ガスである一酸化炭素が発生します。一酸化炭素を吸入すると、吐き気、失神、または死に至る恐れがあります。換気の良い場所でのみ使用してください。
	噴射による危険性。 噴射によるけがの危険を減らすため、水流を人やペットに向けたり、体の一部を水流につけたりしないでください。ホースや付属品の漏れも、噴射による傷害を引き起こす可能性があります。ホースや継手部分を持たないでください。
	目と耳の保護。 本製品を操作する際は、必ず安全ゴーグルまたはサイドシールド付き安全眼鏡を着用してください。あるいはフルフェイスシールド、および完全な耳の保護具を着用してください。
	反動。 反動による傷害の危険を減らすため、マシンが作動しているときは、トリガーガンを両手で確実に保持してください。
	火災の危険性。 燃料とその蒸気は可燃性で、非常に爆発しやすい性質があります。火災は重度の火傷や死に至ることがあります。製品が作動中、またはまだ熱いうちに燃料を加えないでください。可燃性液体をスプレーしないでください。操作は直火が許可されている場所でのみ行ってください。
	爆発の危険性。 引火性液体をスプレーしないでください。引火性液体、燃料、およびそれらの蒸気は爆発性があり、重度の火傷または死亡事故を引き起こす可能性があります。

重要な安全上の注意

⚠ 危険

エンジンの排気ガスには、無色無臭の毒ガスである一酸化炭素が含まれています。一酸化炭素を吸い込むと、吐き気、めまい、失神、死に至ることがあります。めまいや脱力感を感じ始めたら、すぐに新鮮な空気のある場所に移動してください。

本製品は屋外の換気の良い場所でのみ使用してください。車庫、地下室、クロールスぺース、小屋、囲い、またはレクリエーション用車両用を含むコンパートメントなど、いかなる建物内でも本製品を操作しないでください。排気ガスを窓、ドア、換気口、その他の開口部から密閉された場所に入れないようにしてください。

危険:一酸化炭素-この製品を屋内で使用すると、数分で死亡する可能性があります。

⚠ 危険

回転する部品が手、足、髪、衣服、アクセサリーに絡まる可能性があります。外傷による切断や重度の裂傷が生じる可能性があります。

回転部分に手や足を近づけないでください。長い髪は束ね、アクセサリーは外してください。保護具を装着した状態で装置を操作してください。身体にフィットしない衣類、ぶら下がったひも、または巻き込まれる恐れのあるものは着用しないでください。

⚠ 警告

火花は火災や感電の原因となります。

高圧洗浄機を整備する場合:

スパークプラグワイヤーを外し、プラグに接触しない場所に置きます。

プラグを取り外した状態で火花を確認しないでください。承認されたスパークプラグテスターのみを使用してください。

⚠ 警告

電源に接触すると感電や火傷の原因となります。

電源やコンセントの方向や近くには絶対に噴射しないでください。

⚠ 警告

稼働中のエンジンは熱を発生します。接触すると重度の火傷を負うことがあります。可燃物は接触すると発火する恐れがあります。

高温の表面には触れないでください。
高温の排気ガスに触れないでください。
触る前に装置を冷まして下さい。
十分な冷却スペースを確保するため、四方に少なくとも91.4cm(3フィート)の空間を確保してください。
可燃物から少なくとも1.5m(5フィート)の空間を確保してください。

🗨 注意

ポンプ内の水を凍結させないでください。

冬季の保管方法については、取扱説明書の保管の項を参照してください。
高圧洗浄機内で水が凍結した場合、始動前に暖かい部屋で高圧洗浄機を解凍してください。
それを怠り内部部品が損傷した場合、保証が無効になります。

🗨 注意

絶対に本機を空運転しないでください。

本機を操作する前に、給水が完全に「ON」になっていることを確認してください。

⚠ 警告

引火性の液体をスプレーしたり、可燃性の粉塵、液体、蒸気を含む場所で高圧洗浄機を使用したりしないでください。

密閉された建物内や爆発性物質を含む環境の近くでは、絶対に本機を操作しないでください。

- エンジンが熱い間や運転中は、燃料タンクのキャップを外したり、燃料タンクに燃料を入れたりしないでください（給油前にエンジンを2分間冷ましてください）。タンクへの給油は必ずゆっくりと行ってください。
- システムが加圧されている間は、絶対に高圧ホースを本機から外さないでください。

⚠ 警告

スタータコードが急速に引き込むと、手を放すよりも速く手や腕がエンジンの方に引っ張られます。不用意に始動すると巻き込まれ、外傷性切断、裂傷、骨折、打撲、捻挫を負う恐れがあります。

エンジンを始動するときは、抵抗が感じられるまでスタータコードをゆっくり引き、その後反動を避けるために素早く引いてください。

⚠ 危険

ノズルに近づかないでください。
スプレーを人や動物、自分自身に向けしないでください。

操作時またはメンテナンス時には、必ず保護メガネまたはゴーグルと保護具（聴力保護具、手袋、ゴム長靴、保護衣）を着用してください。

- 本機の操作中は、絶対に手や指をスプレーチップの上に置かないでください。
- 絶対に体の一部で水流や漏れを止めたりしないでください。
- スプレー作業を中止するときは、たとえ一時的であっても、必ず安全な位置に引き金の安全ラッチを掛けて下さい。

⚠ 警告

必ず、安全基準を満たしたサイドシールド付きの保護メガネを着用してください。

安全基準を満たした防護手段を厳守することによって深刻なけがのリスクを塞ぐことが出来ます。

🗨 注意

高圧洗浄機の不適切な取り扱いや使用は本機を損傷し、寿命を短くし、保証が無効になります。

高圧洗浄機は、意図された用途にのみ使用してください。
水平な表面でのみ操作してください。
高圧洗浄機を過度の湿気、ほこり、または汚れにさらさないでください。いかなる素材のものによっても冷却スロットを塞がないようにしてください。

以下の場合、高圧洗浄機を使用しないでください：

- 装置が火花を散らし、煙を出し、または炎を発する場合。
- 装置が過度に振動する場合。

⚠ 危険

噴射または傷害の危険性。高圧ジェットは誤用すると危険です。

- 噴射流を人、動物、電気機器、または機械本体に向けしないでください。
- スプレーガンは常に安全な方向に向けてください。エンジンを停止する度に、スプレーガンの引き金を引いて、閉じ込められた圧力を逃がしてください。

🗨 注意

冷たい水のみを使用してください。

🗨 注意

高圧の水流は、壊れやすい表面を傷つける可能性があります。

- 常に目立たないテストエリアで試し、ダメージが発生する可能性がないことを確認してください。
- 絶対にスプレーガンをガラスに向けしないでください。
- 絶対にスプレーノズルを人、動物、電気機器、植物、または機械本体に向けしないでください。

⚠ 警告

高圧洗浄機を使用すると、歩行面が濡れることがあります。
高圧洗浄機の使用で、ガンからの圧力が加わると、足元のバランスを崩し転倒する恐れがあります。

- 水平な場所でのみ使用してください。
- 水を逃がすための適切な排水があることを確認してください。
- 反動により重大な転倒事故を招く恐れのある高所では使用しないで下さい。
- ガンの高圧により負傷する恐れがあります。必ず両手でガンをしっかりと持ち、操作してください。

▲ 警告

高圧スプレーが作業者にはね返ったり、物体を飛散させたりすることがあります。

絶対に子供に高圧洗浄機を操作させたり、近くで遊ばせないでください。

絶対に機械の運転中、またはエンジンを停止しスプレーガンから圧力が開放されるまで、スプレーガンを放置しないでください。

絶対に高圧ホースを修理しないでください。

絶対に漏れのある接続部をシーラントで修理したり損傷したOリングを交換しないでください。

絶対に引き金ロックが損傷または変更されたスプレーガンを使用しないでください。

絶対に引き金を開いた状態/スプレーの位置で固定しないでください。

常に使用中は、高圧ホースをスプレーガンとポンプに接続しておいてください。

常にスプレーガンのノズルと付属品がランスに正しく取り付けられていることを確認してください。

必ず本装置を操作する際は、安全ゴーグルを着用してください。

注:安全ゴーグルとは、目の側面、上部および下部を覆うものです。安全眼鏡とゴーグルを混同しないでください。

▲ 危険

燃料および燃料蒸気は非常に可燃性が高く、爆発しやすい性質があります。

火災や爆発は、重度の火傷や死亡事故を引き起こす可能性があります。

不用意な始動は、もつれ、外傷性切断、裂傷を引き起こす可能性があります。

燃料を充填または排出する場合:

燃料キャップを取り外す前に、高圧洗浄機の電源を切り、少なくとも2分間冷却してください。

キャップをゆっくり緩めてタンク内の圧力を逃がします。

燃料の充填または排出は、屋外の換気の良い場所でのみ行ってください。

ガソリンスタンドで高圧洗浄機に直接ガソリンを入れないでください。認可された容器を使用して燃料を持ち運び、高圧洗浄機に充填してください。

燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。

常に燃料を火花、裸火、種火、熱源、その他の着火源から遠ざけてください。

タバコに火をつけたり、タバコを吸ったりしないでください。

圧力洗浄機を始動するとき:

損傷した高圧洗浄機を始動させようとししないでください。

燃料キャップ、エアフィルター、スパークプラグ、燃料ラインおよび排気装置が適切に設置されていることを確認してください。

エンジンを始動させる前に、こぼれた燃料を完全に蒸発させてください。

高圧洗浄機が平らな地面にしっかりと置かれていることを確認してください。

高圧洗浄機を操作するとき:

運転中に高圧洗浄機を動かしたり、傾けたりしないでください。

高圧洗浄機を傾けたり、燃料や油をこぼしたりしないでください。

高圧洗浄機を輸送または整備する場合:

燃料シャットオフバルブが「OFF」の位置にあり、燃料タンクが空であることを確認してください。

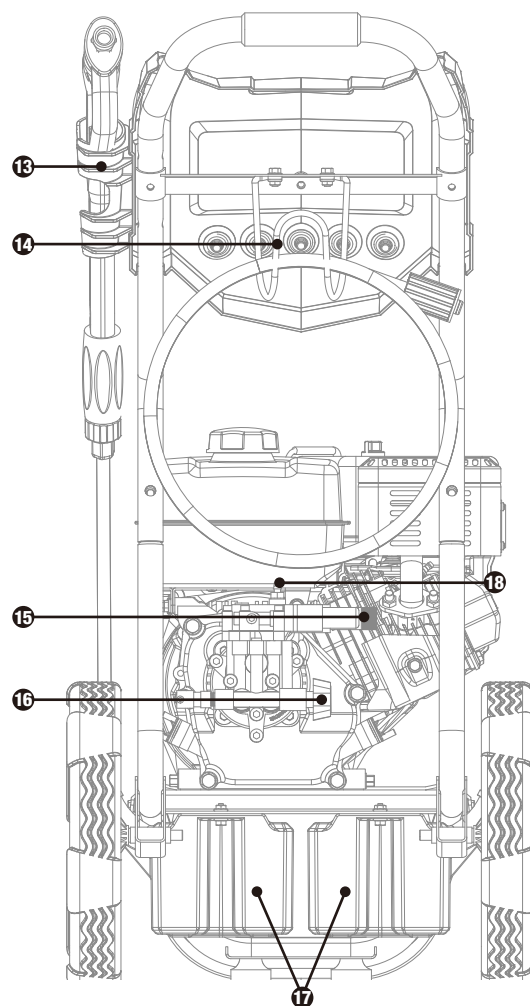
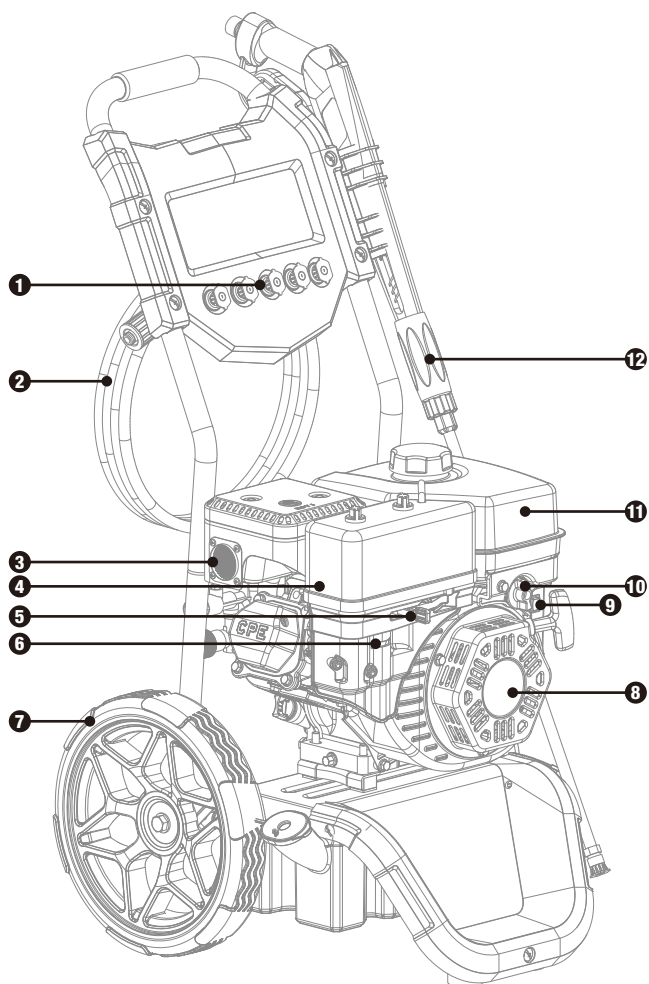
スパークプラグワイヤーを外します。

高圧洗浄機を保管する場合:

火花、裸火、種火、熱源およびその他の着火源から離して保管してください。

コントロールと機能

高圧洗浄機を操作する前に、この取扱説明書をお読みください。コントロールと機能をよく理解してください。将来参照できるように、この取扱説明書を大切に保存してください。



1. ノズル
2. 高圧ホース
3. マフラー
4. エアフィルター - 吸入空気中の塵や埃をろ過してエンジンを保護します。
5. スロットルレバー - エンジン速度を制御するために使用します。
6. チョークレバー - 冷間時にエンジンを始動するのに使います。
7. 30.5cm(12インチ)ホイール
8. リコイルスターター - 手でエンジンを始動させる時に使用します。
9. エンジンスイッチ
10. 燃料バルブノブ - エンジンへの燃料供給をON/OFFするのに使用します。

11. 燃料タンク - 3.4L (0.9ガロン)
12. トリガーガン - ガンとスプレーワンド
13. トリガーガンホルダー - 使用しないときにガンを保持するために使用します。
14. 高圧ホースハンガー - 未使用時に高圧ホースを保持するのに使用します。
15. 高圧ホースアウトレット
16. ガーデンホース注入口
17. 洗剤タンク - 1.7L (0.5ガロン)
18. 洗剤ホース接続バルブ

付属部品

高圧ガン

スプレーワンド (A).....	1
トリガーガン (B).....	1
簡単装着ノズル (C).....	5

ホース

9.1 m (30 ft.) 高圧ホース (D).....	1
0.9m (35.4インチ) 洗剤ホース (E).....	1

その他

オイル用じょうご (F).....	1
エンジンオイル (G).....	1
ガーデンホースアダプター (H).....	1
簡単装着コネクター (I).....	1

組み立て

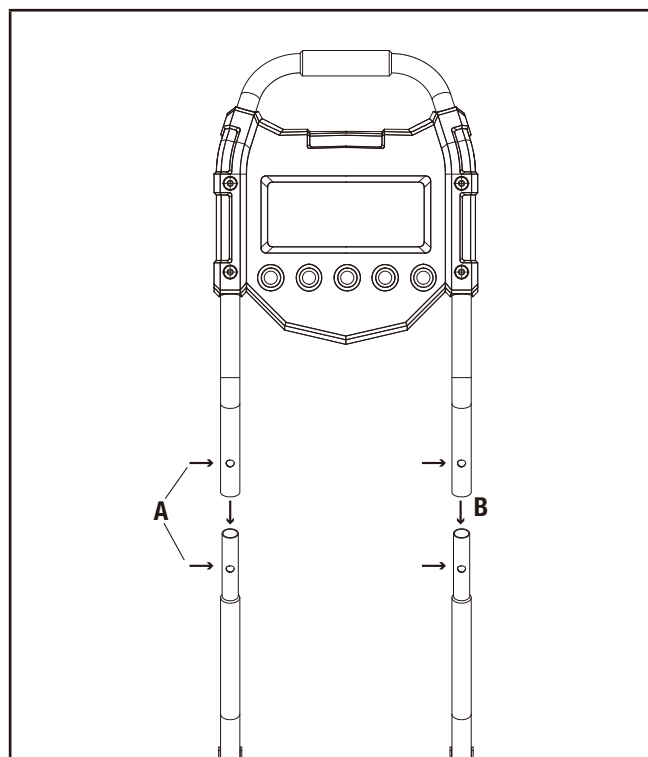
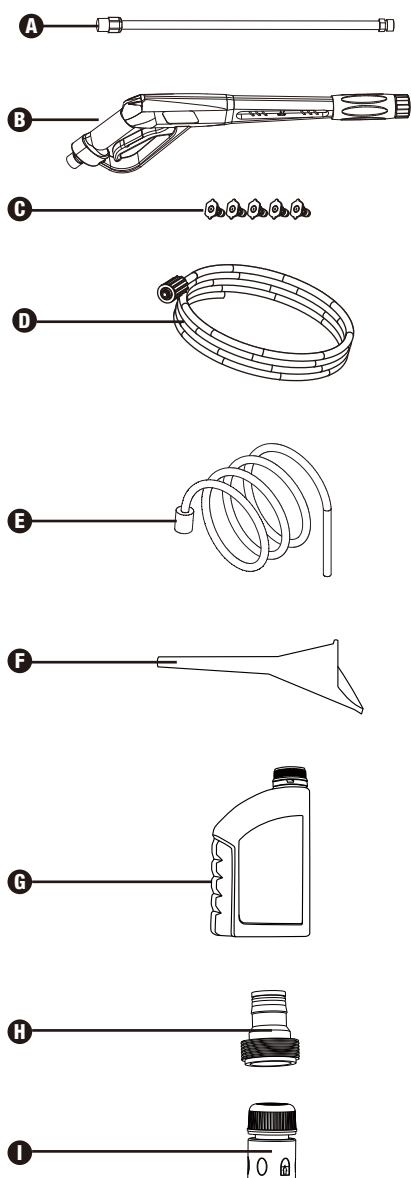
高圧洗浄機は組み立てが必要です。運転前に燃料とオイルを補給してください。高圧洗浄機の組み立てに関してご質問がある場合は、サポートまでお電話ください。その際はシリアル番号と型番をご用意ください。

外箱から高圧洗浄機を取り出す

1. 梱包箱をしっかりとした平らな場所に置きます。
2. 箱から高圧洗浄機本体以外のすべてを取り出します。
3. 箱の角を上から下へ注意深く切り取ります。

ハンドルを下部フレームに取り付ける

1. ハンドルを下部フレームに合わせます。
2. ハンドルの穴がボトムフレームスプリングボタン(A)に合っていることを確認します。プリント表示がある前面がエンジンに向くようにします。
3. スプリングボタンがハンドルフレームの穴から飛び出すまで、ハンドルを下部フレームの下方にスライドさせます。「カチッ」と音がします。(B)
4. ハンドルをゆっくりと引き上げ、2つのフレームがしっかりと接続され、スプリングボタンを押さないとハンドルが外れないことを確認してください。



エンジンオイルの追加

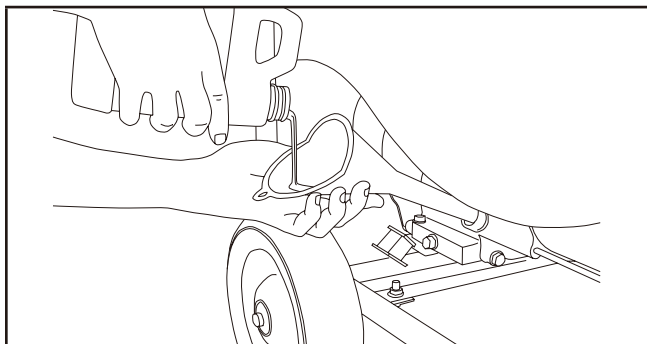
⚠ 注意

推奨される種類と量のオイルを適切に充填する前に、エンジンをクランキングしたり始動させたりしないでください。この指示に従わなかった結果、高圧洗浄機が損傷した場合、保証は無効となります。

🗨 注意

推奨油種は、10W-30の自動車用オイルです。

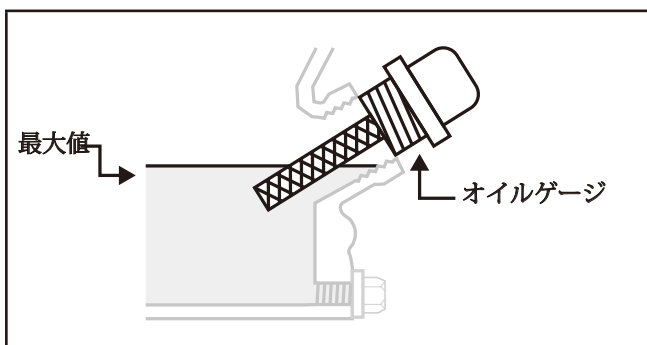
1. 高圧洗浄機を平らな平面に置きます。



2. オイルフィルキャップ / オイルゲージを取り外しオイルを入ります。
3. 最大0.6Lのオイルを補充し、オイルフィルキャップ / オイルゲージを元に戻します。入れ過ぎないでください。
4. エンジンオイルのレベルは毎日点検し、必要に応じて補充してください。

🗨 注意

オイルを入れた後、目視で確認すると、オイルが充填穴から1-2目盛りほど下になります。オイルレベルの点検にオイルゲージを使用する場合は、点検中にオイルゲージをねじ込まないでください。



推奨エンジンオイルタイプ	
10W-30	← 20 40 60 80 100 120 →
5W-30	← 20 40 60 80 100 120 →
10W-40	← 20 40 60 80 100 120 →
5W-30 フルシンセティック	← 20 40 60 80 100 120 →
°F	-20 0 20 40 60 80 100 120
°C	-28.9 -17.8 -6.7 4.4 15.6 26.7 37.8 48.9
使用環境温度	

🗨 注意

最初の5時間は、エンジンの慣らし運転期間とします。慣らし運転期間中は、標準的な自動車用非合成オイルの使用を推奨します。慣らし運転期間終了後、合成潤滑油を使用できますが、必須ではありません。スロットル設定を調整すると、エンジン回転数が増減し、ピストンリングが着座しやすくなります。エンジンのボギー化やラグダウンを避け、一定回転数での長時間の走行は避けてください。5時間の慣らし運転後、オイルを交換してください。合成潤滑油を使用しても、推奨オイル交換間隔は長くなりません。

⚠ 注意

エンジンにはオイル低下シャットオフ機能が装備されており、クランクケース内のオイルレベルが基準値を下回ると停止します。

🗨 注意

慣らし運転期間中は、頻繁にオイルを点検してください。推奨整備間隔は メンテナンスの項を参照してください。

🗨 注意

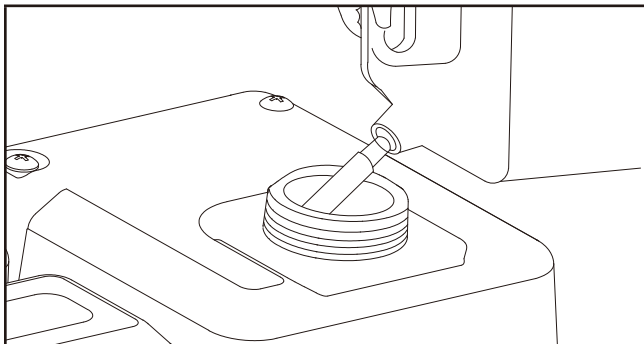
エンジンローターには、密封された潤滑済みボールベアリングを搭載しており、ベアリングの寿命まで追加潤滑は不要です。

🗨 注意

天候は、エンジンオイルとエンジン性能に影響します。天候に応じて使用するエンジンオイルの種類を変更し、エンジンの必要に合わせてください。

燃料の追加

1. オクタン価が87以上で、エタノールの含有量が体積比10%以下の、きれいで新しい無鉛レギュラー燃料を使用してください。
2. 燃料にオイルを混ぜないでください。
3. 燃料キャップ周辺を清掃してください。
4. 燃料キャップを取り外してください。
5. タンクに燃料をゆっくり入れてください。入れ過ぎないでください。燃料は充填後に膨張することがあります。燃料膨張のため、タンク内には最低 6.4 mm (1/4インチ) の空間が必要であり、6.4mm (1/4インチ) 以上空けることを推奨します。過充填の場合、膨張の結果、燃料がタンクから押し出され、製品の安定した走行状態に影響を与える可能性があります。
タンクに燃料を充填する際は、燃料が膨張するのに十分な空間を空けておくことを推奨します。



6. 燃料キャップを締め、こぼれた燃料を拭き取ります。

⚠ 警告

燃料スクリーンを通して燃料を注入する速度が速すぎると、充填中に燃料が作業者に吹き戻す恐れがあります。

⚠ 注意

オクタン価87以上の無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

オイルとガソリンを混ぜないでください。
燃料の膨張を考慮し、タンク上部より約6.4mm (1/4インチ) 下まで給油してください。
ガソリンスタンドで高圧洗浄機に直接ガソリンを入れないでください。ガソリンの持ち運びには認可された容器を使用してください。
屋内で燃料を充填しないでください。
エンジンが作動中または高温の状態で燃料を充填しないでください。
燃料タンクに燃料を入れ過ぎないでください。
燃料タンクに燃料を充填するときに、たばこに火をつけたり、煙草を吸ったりしないでください。

🗨 注意

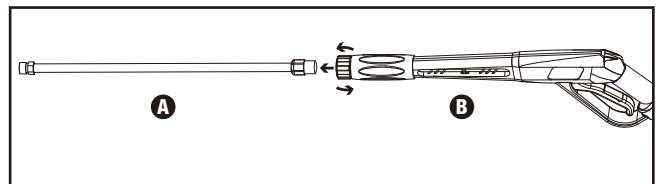
本機のエンジンは10%以下のエタノール混合燃料で十分に機能します。混合燃料を使用する場合、次のような注意点があります：

- エタノールとガソリンの混合物は、ガソリン単独よりも多くの水分を吸収することができます。
- これらの混合物は最終的に分離し、タンクや燃料バルブ、キャブレターに水や水性の粘着質の物質が残ることがあります。
- 重力式燃料供給装置では、このような汚染された燃料がキャブレターに吸い込まれることがあります。その場合、エンジンの損傷や潜在的な危険を引き起こす可能性があります。
- エタノール混合燃料に対応する燃料安定剤の供給元は限られています。
- 不適切な燃料、不適切に保管された燃料、不適切に調合された安定剤の使用による損害や危険は、メーカー保証の対象外となります。

本機を30日以上使用しない場合は、必ず燃料供給を停止し、燃料が枯渇するまでエンジンを運転しタンクから燃料を排出することを推奨します。

トリガーガンの取り付け

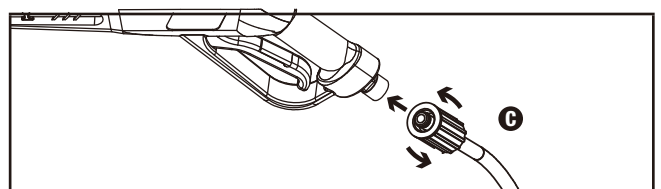
1. スプレーワンド (A) をトリガーガン (B) に取り付けます。
2. トリガーガンの M22 カプラーを、スプレーワンドが固定されるまで回転させます (時計回り)。接続を締めます。締め過ぎないで下さい。



3. 高圧ホース (C) の端をガンのインレットに接続します。接続部を時計回りに締めます。締め過ぎないで下さい。

🗨 注意

接続箇所がまっすぐに正しく接続されていることを確認してください。トリガーガンの使用中に液漏れを起こす可能性があります。



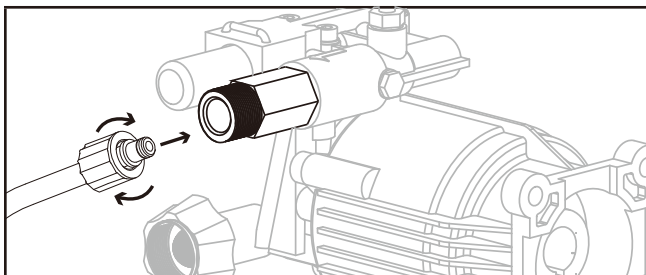
高圧ホースの接続

1. 高圧ホースを完全にほどき、ねじれを防いでまっすぐにします。
2. ホースの接続部をポンプのネジ付き接続部に合わせます。
3. 高圧ホースの接続部をネジ山付き接続部に挿入します。
4. 接続部を時計回りに回し、ホースをポンプにしっかりと締め付けます。

注意

接続箇所がまっすぐに正しく接続されていることを確認してください。トリガーガンの使用中に液漏れを起こす可能性があります。

5. ホースをゆっくりと引っ張り、適切に固定されていることを確認してください。



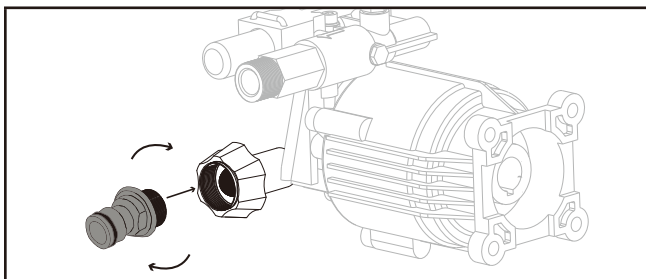
ガーデンホースの接続

給水は必ず加圧給水栓から行ってください。
温水やプール、湖などの水は絶対に使用しないでください。
ガーデンホースを高圧洗浄機に接続する前に：

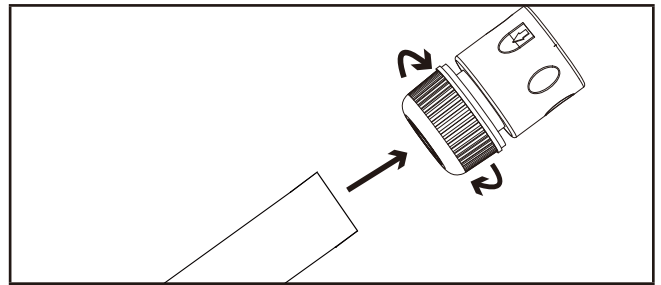
1. ホースに付着したゴミを取り除くため、ホースに30秒間水を流します。
2. 吸水口のスクリーンとガスケットを点検します。
3. スクリーンとガスケットが損傷している場合は、スクリーンを交換するまでマシンを使用しないでください。
4. スクリーンが汚れている場合は、ガーデンホースを本機に接続する前に清掃してください。

ガーデンホースをポンプに接続するには：

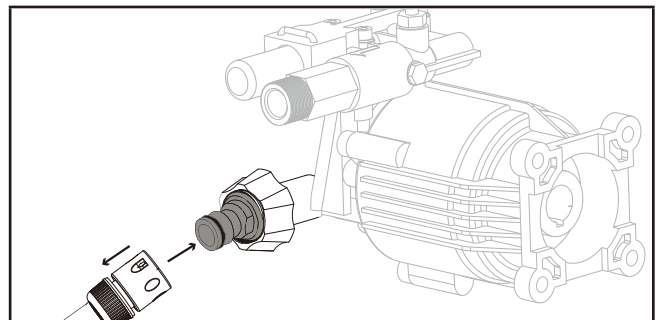
1. ガーデンホースアダプターをポンプのガーデンホースインレットに取り付けます。
2. レンチ（付属していません）を使用してしっかりと締め付けます。締めすぎないでください。



3. クイックカップリングにガーデンホースを取り付け、クイックカップリングのナットを時計回りに回して手で締めます。



4. アウターバレルを奥の位置に押し、クイックカップリングをガーデンホースアダプターに挿入し、アウターバレルを離します。バレルが自動的に戻り、ホースがインレットにロックされます。



注意

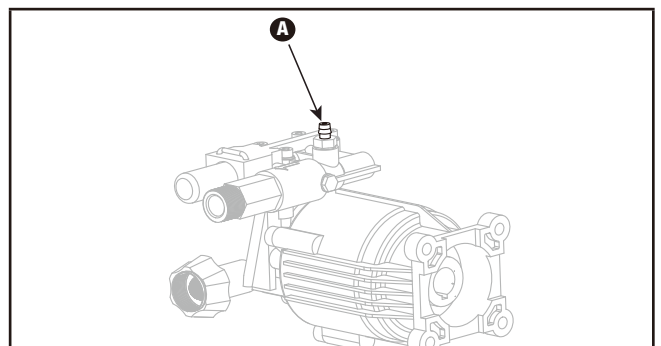
高圧洗浄機の吸入口とホースの蛇口またはシャットオフバルブ（「Y」シャットオフコネクタなど）の間には、最低3m（10フィート）の制限のないホースがなければなりません。

注意

水の供給なしに高圧洗浄機を稼働させると高圧シールが損傷し、ポンプの寿命が短くなる可能性があります。ホースをリールまたはコイルから完全にほどき、タイヤ、石、または圧力洗浄機への水流を弱めたり、妨げたりする可能性のあるその他の物体によってホースが制限されていないことを確認してください。

洗剤用ホースの接続

1. 洗剤ホースを完全にほどいてください。
2. 一方の端をポンプの洗剤ホース接続バルブ(A)に接続します。



操作

高圧洗浄機の設置場所

本高圧洗浄機は、可燃物から少なくとも1.5m(5フィート)離れていなければなりません。適切な冷却、保守、点検が行えるよう、高圧洗浄機の四方に少なくとも91.4cm(3フィート)の空間を確保してください。高圧洗浄機は換気の良い場所に設置してください。換気口や吸気口の近くに高圧洗浄機を置かないでください。高圧洗浄機を設置する際は、風と気流を注意深く考慮してください。

エンジンを始動する前に

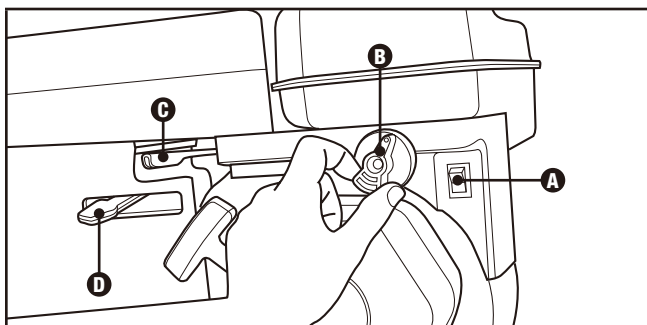
1. 給水をオンにします。
2. トリガーガンの引き金を引いて、ポンプとホースからすべての空気を排出します。これには数分かかる場合があります。
3. ノズルから安定した水流が出るまで、エンジンを始動しないでください。

▲ 注意

絶対に給水なしで高圧洗浄機を作動させないでください。

エンジンを始動する

1. 高圧洗浄機が平らで水平な場所にあることを確認してください。
2. エンジンスイッチを「ON」の位置 (A) にします。
3. 燃料バルブを「ON」位置 (B) にします。
4. スロットルレバー(C)を「FAST」位置に動かします。
5. チョークレバー (D)を「CHOKE」位置に動かします。
6. スターターコードを、抵抗が感じられるまでゆっくりと引き、その後急速に引きます。注意を参照してください。
7. エンジンが暖まったら、チョークレバー(D)を「RUN」に動かし、必要に応じてスロットル (C)を調整します。



🗨 注意

チョークレバーを「CHOKE」の位置にして、リコイルスターターを2回引きます。2回目以降は、チョークレバーを「RUN」位置にして、リコイルスターターを3回まで引いてください。

チョークが効き過ぎると、入ってくる空気が不足してスパークプラグが汚れるか、エンジンがフラッディングします。その場合エンジンが始動しなくなります。

🗨 注意

2回引いてもエンジンが始動しない場合は、トリガーガンのトリガーを引いてポンプ圧を解放します。

🗨 注意

エンジンは始動するが作動しない場合は、次のことを確認してください。高圧洗浄機が平らで水平な場所にあることを確認してください。エンジンにはオイル低下センサーが装備されています。基準値を下回るとエンジンがかからなくなります。

洗浄面からの距離

スプレーノズルと洗浄面の距離は水の衝撃力に影響を与える要因のひとつです。

水の衝撃力は、ノズルが洗浄面に近づくほど大きくなります。以下の方法で衝撃力を変えることができます。

- ・ノズルのファンパターン。
- ・洗浄面に対するノズルの角度。
- ・洗浄面からのノズルの距離。

ガラス窓など損傷を受けやすい表面には、幅の狭い、衝撃の強いストリームやターボノズルを絶対に使用しないでください。ガラスが破損する恐れがあります。

1. ガンの引き金を引く前に、広いファンパターンを持つノズルを選択します。
2. ノズルを洗浄面から約1.2m～1.5m (4～5フィート) 離します。次に、ノズルを洗浄面に対して45度の角度で保持します。ガンのトリガーを引きます。
3. 表面を傷つけることなく最適な洗浄効率が得られるまで、ファンパターンのスプレー角度と洗浄面までの距離を調整してください。

ノズル選択ガイド						
0° 15° 25° 40° Soap 衝撃強 衝撃弱		高圧洗浄				低圧洗浄
		0°	15°	25°	40°	洗剤
コンクリート・レンガ・石造		!	✓	✓	✓	✓
雨どい・家屋・壁板			!	!	✓	✓
フェンス、デッキ、テラス			!	!	✓	✓
芝生・ガーデン用品・ボート・RV			!	!	✓	✓
✓ 推奨ノズル		! 使用に注意が必要				

高圧洗浄

⚠ 注意

本機を使用しないときは、必ずトリガー安全留め具を掛けてください。

トリガー安全留め具は、ガンの引き金が誤って作動するのを防ぎます。留め具を完全に押し下げてください。

⚠ 警告

噴射の危険性

使用前および使用中は、高圧ホースを完全にほどき、まっすぐにし、よじれを起こさないようにしてください。高圧ホースは、外被がホースに強度を与えます。外被が損傷した場合は、ホースの使用を中止し、直ちに交換してください。ホースがよじれたり損傷したりすると、高圧漏れが発生し、噴射事故やその他の重大な人身事故を招く恐れがあります。

🗣 注意

スターターグリップとロープが引きにくくなったら、エンジンを再始動する前に引き金を引いて水圧を逃がします。

高圧洗浄の場合、どの簡単接続ノズルを選ぶべきかについては、ノズル選択ガイドをご参照ください。

⚠ 注意

幅の狭い高衝撃のスプレーは、使用する表面の材質によっては損傷を与えることがあります。

幅が広いファンパターンは、水の衝撃をより広い範囲に分散させるため、表面を傷つけるリスクが少なく、広範囲の洗浄に効果が得られます。

低圧洗浄

洗剤の使用

洗剤を使用することで、洗浄時間を大幅に短縮することができます。頑固な汚れの除去を助けます。

多くの洗剤は、特定の洗浄作業に使用する高圧洗浄機用にカスタマイズされています。高圧洗浄機用の洗剤は水と同様の濃度です。

食器用洗剤のような濃い洗剤を使用すると、洗剤液注入システムが詰まります。

注意

高圧洗浄機用に設計された洗剤のみを使用してください。

家庭用洗剤、酸、アルカリ、漂白剤、溶剤、引火性物質、工業用溶液は、ポンプを損傷したり、物的損害を引き起こす可能性があります。使用しないでください。

多くの洗剤は、使用前に混合が必要な場合があります。洗浄液ボトルの指示に従って洗浄液を準備してください。洗浄を開始する前に、必ず目立たない場所でテストしてください。

洗剤の化学作用と高圧洗浄を組み合わせることで、表面を効果的に洗浄できます。垂直な面には、下から上に向かって洗剤を散布します。この方法は、洗剤が下に滑り落ちて筋がつくのを防ぎます。高圧洗浄は下から上に向かって行います。特に頑固な汚れには、ブラシと洗剤と高圧洗浄を併用してください。

1. 洗剤タンクに洗浄液を入れます。
2. 洗剤タンクのふたの中央にある穴に、洗剤吸引ホース（フィルター付きの端）を差し込みます。
3. 簡単接続洗剤ノズル（黒）をスプレーワンドに取り付けます。黒い洗剤ノズルがワンドの先端に取り付けられているときのみ、洗剤はポンプを通して吸引されます。
4. 給水が「ON」になっていることを確認します。エンジンを始動します。トリガーガンを引きいて洗剤溶液をスプレーします。

警告

洗剤タンクには絶対に漂白剤を入れないでください。ポンプを損傷し、保証が無効になります。

注意

トリガーガンは、黒い簡単接続ノズルがワンドに取り付けられている場合にのみ、タンクから洗剤を引き出します。

注意

洗剤をスプレーする場合、洗剤は1:12に希釈されます。スプレー1分につき約0.6 L (21オンス) の洗剤がタンクから消費されます。

システムの洗浄

洗剤を使用した後は、洗剤吸引チューブをきれいな水の入ったバケツに入れ、吸引システムを洗浄してください。

警告

エンジンを停止する前に絶対に給水を止めないでください。

システムの減圧

減圧するには、まずエンジンを止め、給水を止めます。エンジンを止めてから少なくとも15秒間ガンの引き金を引いてください。

警告

システムが加圧されている間は、絶対に高圧排出ホースをマシンから外さないでください。

人身事故や物的損害の危険を減らすため、以下の作業を必ず行ってください。スプレー作業を中止する場合、作業が完了した場合、および各部を点検または修理する場合は、必ずこの手順に従ってください。

1. トリガーガンの安全留め具を掛けます。
2. ユニットの電源を切ります。
3. 水の供給を止めます。
4. 引き金の安全留め具を外し、ガンの引き金を引いて圧力を開放します。
5. 引き金の安全留め具を再び掛けます。
6. 夜間保管、長期保管、またはユニットを輸送する前は、給水を止め、燃料供給バルブを「OFF」にします。

操作のヒント

注意

絶対に水なしで高圧洗浄機を操作しないでください。

注意

高圧洗浄機を温水に接続しないでください。

高圧洗浄機を温水源に接続すると、ポンプの寿命を著しく縮め、保証が無効になります。

▲ 注意

水を噴霧せずに1分以上ユニットを運転すると、ポンプに熱がこもります。

ポンプが熱くなり過ぎると、熱安全バルブが開いて温水を放出します。水を噴霧せずにユニットを運転すると、ポンプ部品が損傷し、保証が無効になります。

エンジンの停止

1. 燃料バルブを「OFF」位置に回す。
2. 燃料が枯渇してエンジンが停止するまでエンジンを運転させます。これには通常数分かかります。
3. エンジンスイッチを「OFF」位置に押します。
4. システムを減圧します。
5. 給水を止め、すべてのホースのプラグを抜きます。絶対に給水がない状態で高圧洗浄機を始動または停止させないでください。

重要: エンジンを使用しないときは、必ず燃料バルブとエンジンスイッチが「OFF」の位置になっていることを確認してください。

● 注意

エンジンを2週間以上使用しない場合の、適切なエンジンと燃料の保管については「保管」の項を参照してください。

高地での操作

高地における空気の密度は、海面よりも低くなります。空気質量と空燃比が低下すると、エンジン出力が低下します。エンジン出力は、海拔高度が305m(1,000フィート)上がるごとに約3.5%低下します。

これは自然な傾向であり、エンジンの調整で変えることはできません。高地では、空燃比の濃縮度が増すため、排気エミッションが増加することもあります。

その他の高地での問題としては、始動性の低下、燃料消費量の増加、スパークプラグの汚損などがあります。

▲ 警告

推奨される最低高度より低い高度でオルタネートメインジェットを使用して運転すると、エンジンが損傷する恐れがあります。より低い高度で運転する場合は、標準メインジェットを使用する必要があります。ある高度で誤ったエンジン構成で運転すると、排出ガスが増加し、燃料効率と性能が低下する恐れがあります。

メンテナンス

高圧洗浄機が清潔に保たれ、適切に保管されていることを確認してください。本機は、清潔で乾燥した使用環境の、平らで水平な表面でのみ操作してください。極端な環境、過度のほこり、汚れ、湿気、または腐食性の蒸気に本機をさらさないでください。

▲ 警告

損傷した、あるいは欠陥のある高圧洗浄機は絶対に操作しないでください。

▲ 警告

不適切なメンテナンスは保証を無効にします。

● 注意

排気制御装置およびシステムの保守、交換、または修理は、エンジン修理の専門業者または知識のある個人によって実施することが可能です。

定期整備はすべて所有者／運転者が責任を負います。すべての定期メンテナンスを適時に完了してください。高圧洗浄機を運転する前に、いかなる問題も修正してください。サービスまたは部品に関するお問い合わせは、カスタマーサービスまでご連絡ください。

高圧洗浄機の清掃

▲ 注意

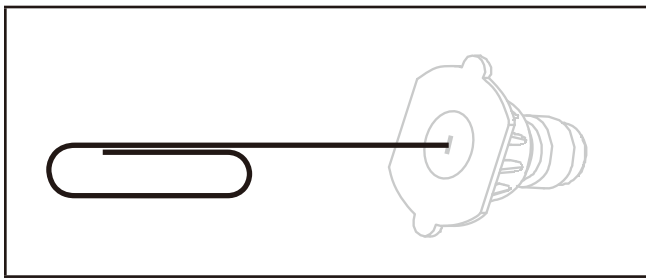
高圧洗浄機に水を噴射しないでください。

水は燃料システムを汚染し、冷却スロットを通してエンジンに侵入し、エンジンを損傷する恐れがあります。

1. 湿らせた布を使用して、高圧洗浄機の外面を清掃します。
2. 柔らかい毛のブラシを使って、汚れや油を取り除きます。
3. エアコンプレッサー (0.17MPa/25PSI) を使用して、高圧洗浄機から汚れやごみを取り除きます。
4. すべての通気口と冷却スロットを点検し、清潔であり、障害物がないことを確認します。

スプレーノズルのクリーニング

ワンドから簡単接続ノズルを取り外します。小さな針金棒 (ペーパークリップ等) を使って簡単接続ノズルの中の粒子をほぐし、水で洗い流します。

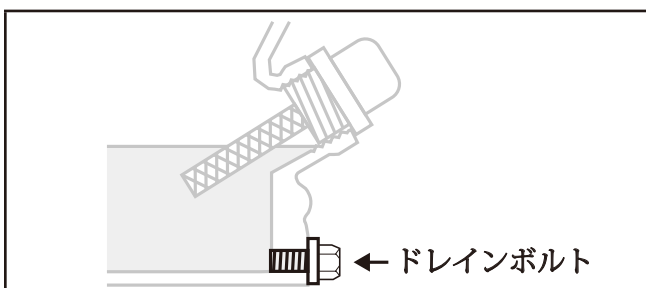


誤って始動するのを防ぐため、整備を実施する前にスパークプラグワイヤーを取り外し、接地してください。

エンジンオイルの交換

オイルの交換はエンジンが温まってから行ってください。「オイルの仕様」を参照して、使用環境に適したグレードのオイルを選択してください。

1. 12mmソケットとエクステンションバー (付属していません) を使ってオイルドレインプラグを取り外します。
2. オイルを完全に排出させます。
3. オイルドレインプラグを元に戻します。
4. オイルフィルキャップ/ディプスティックを外してオイルを補充します。



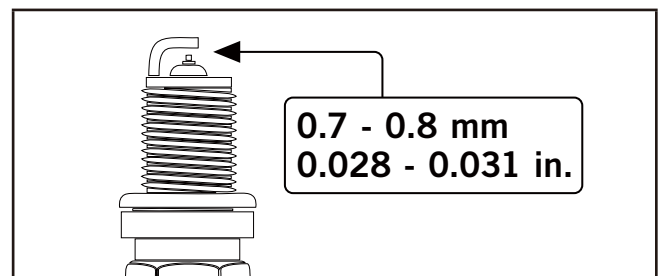
5. 最大0.6Lのオイルを補充し、オイルフィルキャップ / オイルゲージを元に 戻します。入れ過ぎないでください。
6. 使用済みオイルは、認可された廃棄物処理施設で処分してください。

● 注意

オイルを入れたら、目視点検でオイルが充填穴から1-2目盛ほど下にあることを確認してください。オイルレベルの点検にオイルスティックを使用する場合は、点検中にオイルスティックをねじ込まないでください。

スパークプラグの清掃と調整

1. スパークプラグからスパークプラグケーブルを外します。
2. スパークプラグソケットツール (付属していません) または 21mm (13/16 in.) (付属していません) ソケットを使用してプラグを取り外します。
3. プラグの電極を点検します。点火に必要な火花を発生させるには、きれいで磨耗していない必要があります。
4. スパークプラグのギャップが 0.7-0.8mm (0.028-0.031 インチ) であることを確認します。



5. プラグを交換する際は、「スパークプラグの仕様」の種類を参照してください。
6. 慎重にプラグをエンジンにねじ込みます。
7. スパークプラグソケットツール (付属していません) または 21mm (13/16 in.) (付属していません) ソケットを使用してプラグを取り付けます。
8. スパークプラグワイヤーをプラグに取り付けます。

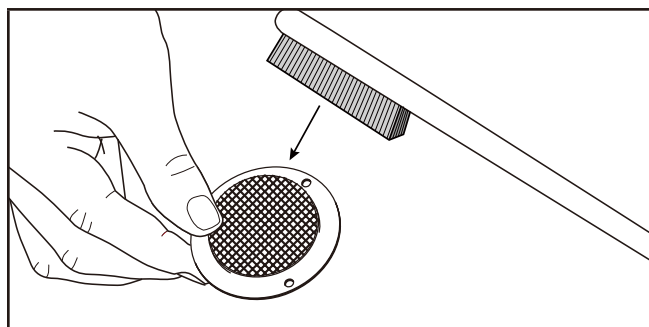
エアフィルターの清掃

1. エアフィルターカバー上部の穴の蝶ネジを指で緩めます。
2. プラスチック製の外箱を取り外します。
3. フィルターを取り外します。
4. 液体洗剤と水で洗います。清潔な布で拭いてください。
5. きれいなエンジンオイルに浸します。
6. 清潔な布で余分なオイルを取り除きます。
7. フィルターをアセンブリにセットします。

8. エアフィルターカバーを再び取り付け、指を使ってネジをエアフィルターカバーの上下の穴に差し込みます。きつく締まるまでねじ込みます。締めすぎに注意してください。

スパークアレスタの清掃

1. スパークアレスタを整備する前に、エンジンが完全に冷えていることを確認してください。
2. スパークアレスタの端をマフラーに固定しているカバープレートを留めているネジ4個を取り外します。
3. スパークアレスタのスクリーンを取り外します。
4. スパークアレスタのスクリーンからカーボン付着物を慎重に取り除きます。ワイヤブラシでスパークアレスタスクリーンのカーボンの付着物を慎重に取り除きます。
5. スパークアレスタが損傷している場合は、交換してください。
6. スパークアレスタをマフラーにセットし、4個のネジで取り付けます。



⚠ 注意

スパークアレスタの清掃を怠ると、エンジン性能の低下につながります。

💡 注意

スパークアレスタが必要な時期や場所は必要に応じて地方自治体にご確認ください。

ガバナーの調整

⚠ 警告

工場出荷時に設定されているガバナーに手を加えると、保証が無効になります。

混合気は調整できません。ガバナーに手を加えると、高圧洗浄機が損傷し、保証が無効になります。

メンテナンススケジュール

以下のスケジュールに示された整備間隔に従ってください。悪条件下で使用する場合は、より頻繁に点検を行ってください。

8時間ごと、または毎日

- ☐ オイルレベルの点検
- ☐ 吸気口とマフラー周辺の清掃

最初の5時間

- ☐ オイル交換

50時間ごと、または毎シーズン

- ☐ エアフィルターの清掃
- ☐ 高負荷または高温環境下で運転する場合は、オイルを交換する。

100時間ごと、または毎シーズン

- ☐ オイル交換
- ☐ スパークプラグの清掃 / 調整
- ☐ バルブクリアランスの点検 / 調整*
- ☐ スパークアレスタの清掃
- ☐ 燃料バルブフィルターの清掃*

250時間ごと

- ☐ 燃焼室の清掃*

3年ごと

- ☐ 燃料ラインの交換*

*知識、経験豊富なオーナーまたは専門の技術者が行ってください。

保管

適切なクリーニング方法については、「メンテナンス」の項を参照してください。

高圧洗浄機の保管

1. 保管する前に、圧力洗浄機を完全に冷却してください。
2. 燃料バルブで燃料供給を止めてください。

3. 「メンテナンス」のセクションの指示に従って、高圧洗浄機を清掃してください。
4. 本機は、直射日光の当たらない、清潔で乾燥した場所に保管してください。

5. じょうごに不凍液を注入し、エンジンのリコイルスターターを引いてポンプハウジング内に吸引力を発生させます。ポンプ出口から不凍液が出てくるまで、リコイルを数回引きます。ポンプ出口から不凍液が出てきます。

30日以内の保管

1. エンジンを完全に冷やしてから保管してください。
2. 「メンテナンス」のセクションに従ってエンジンを清掃してください。
3. 燃料の貯蔵寿命を延ばすには、適切に調合された燃料安定剤をタンクに添加します。
4. 燃料バルブが「OFF」位置にあることを確認します。

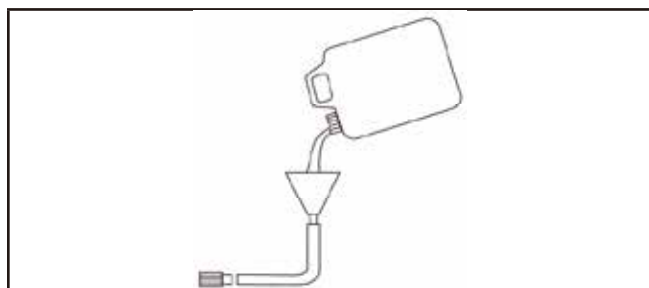
30日以上での保管

1. 適切な燃料安定剤をタンクに添加してください。
2. 数分間エンジンを運転し、処理した燃料を燃料システムとキャブレターシステムに循環させます。
3. 燃料バルブを「OFF」位置に回します。
4. 燃料が枯渇してエンジンが停止するまでエンジンを回転させます。これには通常数分かかります。
5. エンジンを完全に冷ましてから洗浄し保管します。
6. 「メンテナンス」のセクションに従ってエンジンを清掃してください。
7. オイルを交換してください。
8. スパークプラグを取り外し、約14.9mL (1 / 2 oz) のオイルをシリンダー内に注ぎます。エンジンをゆっくり回転させ、オイルを行き渡らせ、シリンダーを潤滑します。
9. スパークプラグを再び取り付けます。

冬期の保管

高圧洗浄機の部品を凍結から守るには：

1. 前のセクションのすべての保管指示を適用します。
2. 冬期に保管する前に、高圧洗浄機ホースに水がないことを確認してください。
3. ポンプの凍結を防ぐため、RV不凍液を入れる必要があります。
4. 約177.4mL (約6オンス) のRV不凍液、じょうご、約30.5cm (約12インチ) のガーデンホースまたは同等のものがが必要です。下図を参照してください。



⚠ 警告

ガソリンの蒸気に引火する可能性があるため、熱源や直火、火花、種火のある器具の中や隣に高圧洗浄機を保管しないでください。
肥料や腐食性物質の近くに高圧洗浄機を保管しないでください。
ガソリンタンクが空でも、ガソリン蒸気に引火する恐れがあります。

⚠ 危険

エンジンの排気ガスには、無臭・無色の一酸化炭素ガスが含まれています。

製品の保管中に偶発的または意図しない点火を避けるため、保管中は以下の注意事項に従ってください：

- 高圧洗浄機を短期間または長期間保管する場合は、エンジンスイッチと燃料バルブが「OFF」になっていることを確認してください。

🗨 注意

本機のエンジンは、10%以下のエタノール混合燃料で十分に機能します。

混合燃料を使用する場合、注意すべき問題がいくつかあります：

- エタノールとガソリンの混合燃料は、ガソリンのみよりも多くの水分を吸収します。
- これらの混合物は最終的に分離し、タンク、燃料バルブ、キャブレターに水や粘着質の物質が残ることがあります。
- 重力式燃料供給装置では、この汚染された燃料がキャブレターに引き込まれ、エンジンの損傷および/または潜在的な危険を引き起こす恐れがあります。
- エタノール混合燃料に対応する燃料安定剤のサプライヤーは限られています。
- 不適切な燃料、不適切に保管された燃料、不適切に調合された安定剤の使用によって生じた損害や危険は、保証の対象外となります。

30日以上使用しない場合は、必ず燃料供給を止め、燃料がなくなるまでエンジンを回転させ、タンクから燃料を抜くことをお勧めします。

仕様

高圧洗浄機の仕様

型番	500384-J
最高圧力	22Mpa (3200 PSI)
最大容量	545L/h (2.4 GPM)
最高使用水温	40°C (104°F)
燃料容量	3.4 L (0.9 gal.)
総重量	34.9 kg (76.9 lb.)
乾重量	31 kg (68.3 lb.)
高さ	97.2 cm (38.3 in.)
幅	68 cm (26.8 in.)
長さ	46.7 cm (18.4 in.)

エンジンの仕様

型式	YF172F-000
排気量	224 cc
エンジンタイプ	4-Stroke OHV
始動タイプ	手動

オイルの仕様

入れすぎないでください。

オイルタイプ	*下記の表を参照
容量.....	0.6 L (0.6 qt.)

燃料の仕様

オクタン価が最低87以上の自動車用無鉛ガソリンを使用してください。エタノールを10%以上含む燃料は絶対に使用しないでください。E15またはE85は使用しないでください。入れすぎないでください。

ガソリン容量 3.4 L (0.9 gal.)

スパークプラグの仕様

純正タイプ	F6RTC
交換用タイプ	NGK BPR6ES または同等
ギャップ幅	0.7-0.8 mm (0.028-0.031 in.)

バルブの仕様

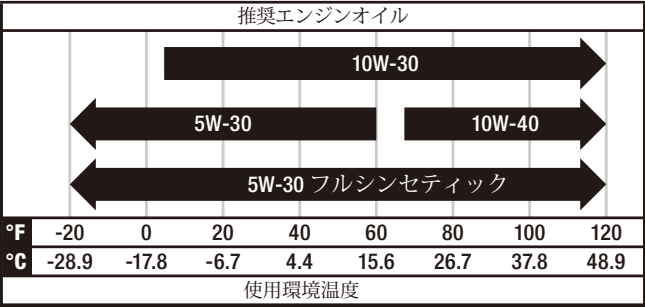
吸気クリアランス	0.13-0.17 mm (0.005-0.007 in.)
排気クリアランス	0.18-0.22 mm (0.007-0.009 in.)

温度に関する重要なお知らせ

本機は周囲温度40°C(104°F)までの連続運転用に設計および定格されています。

必要とされる場合、-15°C～50°Cで短時間使用することができます。

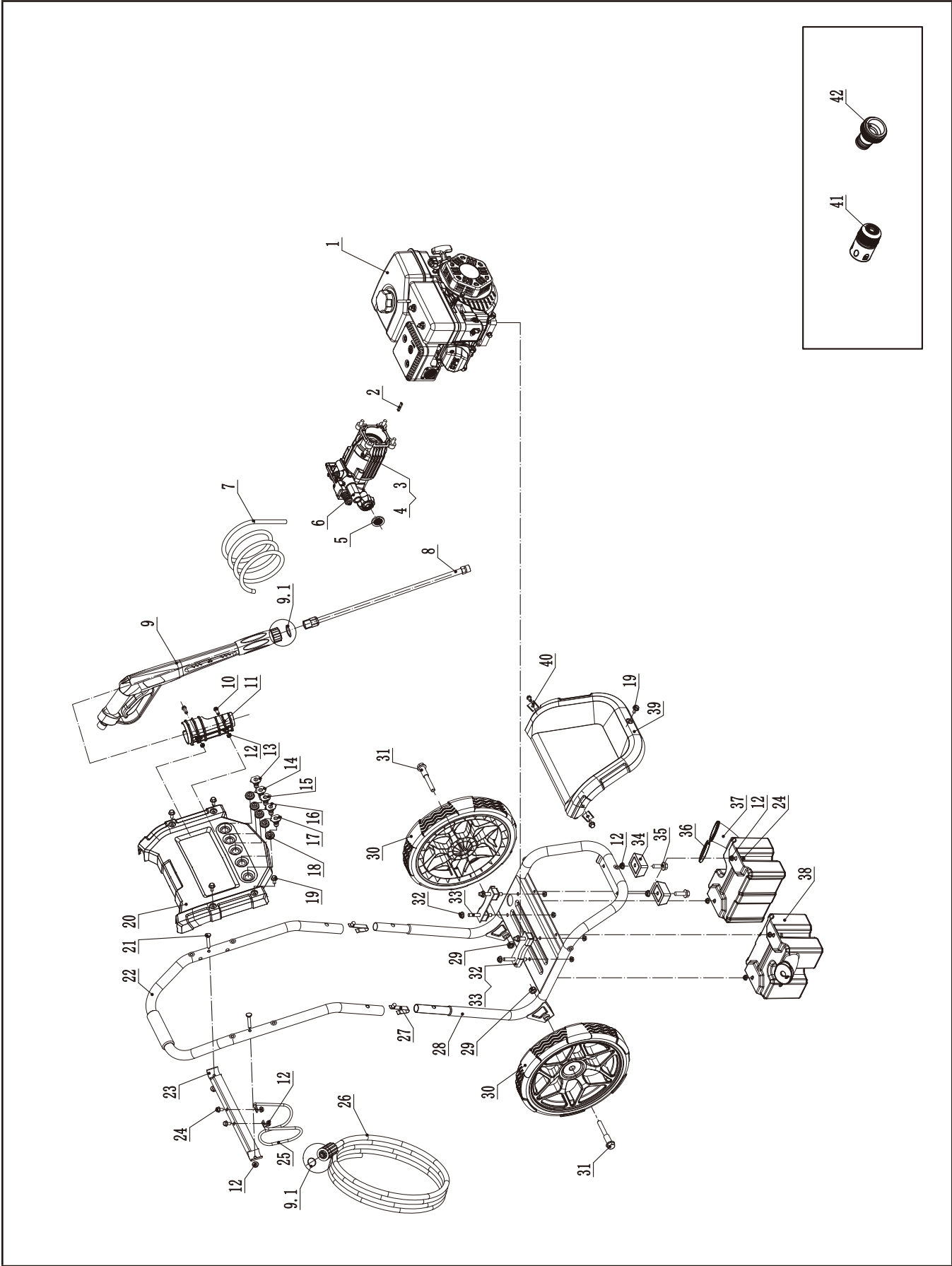
保管中にこの範囲外の温度にさらされた場合は、運転前にこの範囲内に戻す必要があります。いかなる場合でも、本製品は必ず換気の良い屋外で、ドアや窓、換気口から離れた場所で使用してください。



注意

天候は、エンジンオイルとエンジン性能に影響します。天候に応じて使用するエンジンオイルの種類を変更してください。

部品図

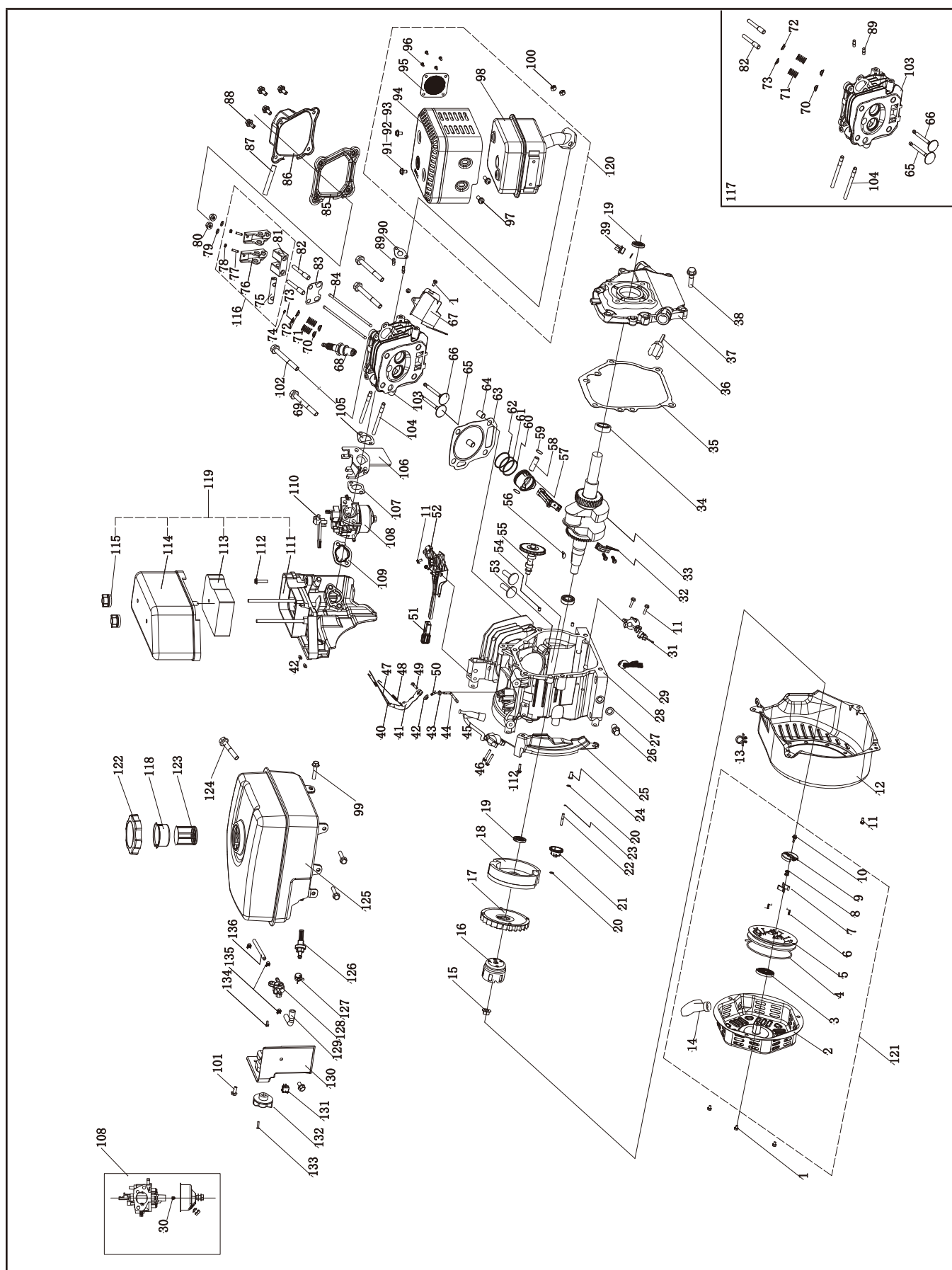


部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	500384-J	Engine	1
2	2.14.001	Key, SQ 4.78 x 4.78 x 40	1
3	2.08.010	Bolt 5/16-24 x 22	4
4	1.93.08	Lock Washer Ø8	4
5	252.251003.00	Inlet Filter Gasket	1
6	254.251000.09	Pump Body	1
7	254.250100.10	Detergent Hose, 35.4 in.	1
8	254.252200.00	Wand	1
9	254.252100.00.2	Handle, Gun	1
9.1	2.07.034	O Ring , Ø 14 × Ø 9 × Ø 2.5	3
10	1.5783.0645	Bolt M6 x 45	2
11	254.200012.05.2	Shelf, Hose	1
12	1.6177.1.06	Lock Nut M6, Flange	12
13	254.252300.05	Nozzle "Detergent", 65400	1
14	254.252300.09	Nozzle "40", 40028	1
15	254.252300.08	Nozzle "25", 25028	1
16	254.252300.07	Nozzle "15", 15028	1
17	254.252300.06	Nozzle "0", 00028	1
18	252.201400.01	Sheath, Nozzle	5
19	1.5789.0615.1	Flange Bolt M6 x 15, Black	7
20	254.200800.03.2	Decorative Sheet, Up	1
21	2.08.139	Bolt M6 x 35	2
22	254.200701.06.78	Handle, Frame	1

#	Part Number	Description	Qty.
23	254.201600.00.78	Mounting Plate	1
24	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	6
25	254.200012.03.78	Hose Hanger	1
26	254.250100.00	High-Pressure Hose, 25ft.	1
27	252.201300.00	Pin	2
28	254.201100.08.78	Frame	1
29	1.6182.10	Lock Nut M10	2
30	254.201701.03.48	12 in. Wheel, Yellow	2
31	2.08.007	Bolt M10 x 82	2
32	1.6177.1.08	Lock Nut M8, Flange	8
33	252.201200.00	Vibration Mount, Engine	2
34	83.201400.01	Vibration Mount, Support Leg	2
35	1.5789.0620	Flange Bolt M6 x 20	2
36	254.250203.01	Cap, Detergent Tank	2
37	254.250200.01	Detergent Tank, Left	1
38	254.250200.02	Detergent Tank, Right	1
39	254.200800.04.2	Decorative Sheet, Down	1
40	2.03.038	Arc Washer	2
41	254.250501.10	Quick Coupling	1
42	254.250501.13	Connector	1

エンジン部品図



エンジン部品リスト

#	Part Number	Description	Qty.
1	1.5789.0608	Flange Bolt M6 x 8	5
2	22.061100.00.2	Cover, Recoil Starter, Black	1
3	21.061005.00	Spring, Recoil Starter	1
4	2.10.003.1	Rope Ø4 x 1550, Black	1
5	21.061001.01	Reel, Recoil Starter	1
6	45.060003.00	Spring, Ratchet	2
7	45.060002.00	Starter Ratchet, Steel	2
8	45.060009.00	Spring, Ratchet Guide	1
9	45.060007.00	Ratchet Guide	1
10	45.060008.00	Screw, Ratchet Guide	1
11	1.5789.0612	Flange Bolt M6 x 12	8
12	27.080100.00.48	Fan Cover, Yellow	1
13	2.05.002	Clamp Ø9.5 x 5	1
14	21.061300.00	Handle, Recoil, Soft	1
15	2.02.006	Nut M14 x 1.5	1
16	83.060001.01	Pulley, Starter	1
17	27.080001.00	Cooling Fan	1
18	24.120100.06	Flywheel	1
19	2.11.001	Oil Seal Ø25 x Ø41.3 x 6	2
20	2.03.020.1	Washer Ø6.2 x Ø15 x 0.5, Black	2
21	21.110100.00	Gear, Governor	1
22	21.110013.00	Shaft, Governor Gear	1
23	21.110011.00	Clip, Governor Gear	1
24	21.110012.01	Bushing, Governor Gear	1
25	23.080600.00	Air Guide, Right	1
26	2.08.037	Drain Bolt M10 x 1.25 x 25	2
27	2.03.016	Washer Ø10 x Ø16 x 1.5, Drain Bolt	2
28	27.030100.00	Crankcase	1
29	21.120400.01	Diode Assembly	1
30	27.131017.04	Standard Main Jet	1
	27.131017.04.01	Altitude Main Jet	/
31	21.127000.02	Oil Level Sensor	1
32	27.050200.00	Connecting Rod	1
33	27.050100.01	Crankshaft, Q	1
34	1.276.6205	Bearing 6205	2
35	24.030008.00	Gasket, Crankcase Cover	1
36	22.031000.00.48	Oil Dipstick Assembly, Yellow	1

#	Part Number	Description	Qty.
37	24.030007.00	Cover, Crankcase	1
38	1.5789.0832	Flange Bolt M8 x 32	6
39	22.031000.01.48	Oil Filler Cap, Yellow	1
40	23.110005.01	Spring, Throttle Return	1
41	27.110003.00	Arm, Governor	1
42	1.6177.06	Flange Nut M6	3
43	2.03.021.1	Washer Ø6.4 x Ø13 x 1, Black	1
44	21.110001.00	Shaft, Governor Arm	1
45	22.123000.02	Ignition Coil	1
46	1.5789.0625	Flange Bolt M6 x 25	2
47	23.110006.00	Rod, Governor	1
48	27.110007.01	Spring, Governor	1
49	2.08.040	Bolt M6 x 21, Governor Arm	1
50	21.110008.00	Pin, Shaft	1
51	24.111008.01.48	Grip Sheath, Speed Governor, Yellow	1
52	24.111000.01	Control Assembly	1
53	25.040013.00	Lifter, Valve	2
54	2.04.001	Dowel Pin Ø9 x 14	2
55	27.041000.01	Camshaft	1
56	2.14.012	Woodruff Key 4 x 7.5 x 19	1
57	27.050005.00	Piston	1
58	23.050003.00	Pin, Piston	1
59	2.09.001	Circlip Ø18 x Ø1	2
60	27.050303.00	Ring, Oil	1
61	27.050302.00	Ring, Second Piston	1
62	27.050301.00	Ring, First Piston	1
63	27.030009.01	Gasket, Cylinder Head	1
64	2.04.003	Dowel Pin Ø10 x 14	2
65	23.040002.02	Valve, Intake	1
66	23.040006.02	Valve, Exhaust	1
67	26.080400.00	Air Guide, Lower	1
68	2.15.002	Spark Plug F6RTC	1
69	1.5789.0865	Flange Bolt M8 x 65	3
70	23.040017.00	Oil Seal, Valve	2
71	21.040003.00	Spring, Valve	2
72	21.040007.00	Retainer, Exhaust Valve Spring	1
73	21.040001.00	Retainer, Intake Valve Spring	1
74	21.040008.00	Rotator, Exhaust Valve	1
75	24.040202.00	Shaft, Rocker Arm	1

#	Part Number	Description	Qty.
76	22.040009.00	Rocker Arm	2
77	22.040012.00	Screw, Valve Adjustment	2
78	21.040021.00	Nut M6 x 0.5, Lock	2
79	1.971.06	Washer Ø6	2
80	1.6177.1.06	Flange Nut M6	2
81	24.040201.00	Retainer, Rocker Arm	1
82	23.040010.00	Bolt, Rocker Arm	2
83	24.040004.00	Guide Plate, Push Rod	1
84	27.040005.00	Push Rod	2
85	21.020002.01	Gasket, Cylinder Head Cover	1
86	24.021000.00	Cover, Cylinder Head	1
87	21.020001.00	Breather Tube	1
88	1.5789.0615	Flange Bolt M6 x 15	4
89	2.01.010	Stud Bolt M8 x 35	2
90	26.100001.00	Gasket, Exhaust Pipe	1
91	1.16674.0510	Flange Bolt M5 x 10	2
92	1.848.05	Washer Ø5	2
93	1.93.05	Lock Washer Ø5	2
94	24.101202.00	Muffler Protector	1
95	46.101300.05	Muffler Screen	1
96	1.818.0406	Screw M4 x 6	4
97	1.9074.4.0510	Screw/Washer Assembly M5 x 10	2
98	24.101100.00	Muffler Assembly	1
99	2.08.154	Flange Bolt Assembly M6 x 20	3
100	1.6175.08	Nut M8	2
101	1.5789.0612.3	Flange Bolt M6 x 12	2
102	2.08.121	Flange Bolt M10 x 65	1
103	26.010100.01	Cylinder Head, 224cc	1
104	2.01.009	Stud Bolt M6 x 110	2
105	24.130002.00	Gasket, Insulator	1
106	23.130001.00	Insulator, Carburetor	1
107	22.130003.00	Gasket, Carburetor	1
108	27.131000.04	Carburetor	1
	27.131000.09		
109	21.130004.00	Gasket, Air Cleaner	1
110	21.130100.00	Choke Handle	1
111	24.091100.01	Base, Air Cleaner	1
112	1.5789.0620	Flange Bolt M6 x 20	2
113	24.091003.01	Element, Air Cleaner	1
114	24.091200.01	Cover, Air Cleaner	1
115	24.091600.01	Screw Cap, Air Clean Cover	2

#	Part Number	Description	Qty.
116	24.040200.00	Rocker Arm Assembly	1
117	27.010000.00	Cylinder Head Assembly	1
118	23.070303.00	Support, Filter	1
119	24.091000.01	Air Cleaner Assembly	1
120	24.101000.00.2	Muffler Assembly	1
121	22.061000.00	Recoil Assembly	1
122	21.070100.00	Cap, Fuel Tank	1
123	23.070301.00	Fuel Filter, Fuel Tank	1
124	2.08.156	Flange Bolt Assembly M6 x 33	1
125	24.071000.00.2	Fuel Tank	1
126	21.070600.01	Joint, Fuel Pipe	1
127	2.06.016	Clamp Ø8.7 x b8	1
128	24.070400.00	Fuel Valve	1
129	24.070011.01	Pipe, Ø4.5 x (30 + 30)	1
130	24.070010.00	Veil, Fuel Tank	1
131	5.1010.003.3	Ignition Switch, Red	1
132	24.070001.00	Fuel Knob	1
133	1.818.0412	Bolt M4 x 12	1
134	1.16674.0512.2	Flange Bolt M5 x 12	1
135	2.06.007	Clamp Ø8 x b6	3
136	24.070011.00	Fuel Pipe Ø4.5 x Ø9.5 x 230	1

トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
高圧洗浄機が始動しない	燃料がない	燃料を追加します
	スパークプラグの不具合	スパークプラグを交換します
高圧洗浄機が始動しない 高圧洗浄機が始動するが動きが粗い	オイル残量が少ない	クランクケースを適切なレベルまで満たします 高圧洗浄機を平らで水平な場所に置きます
	チョークの位置が不適切	チョークを調整します
	スパークプラグワイヤーが緩んでいる	スパークプラグにワイヤーを取り付けます
高圧洗浄機の動きが不規則	エンジンガバナーの不具合	専門業者に連絡してください
ユニットが高圧に達しない	水の供給が制限されている	ホースに漏れ、詰まり、ねじれがないか点検してください
	ガーデンホースが小さすぎる	15.87mm (5/8インチ) 以上のガーデンホースに交換してください
	ガーデンホースの注入口フィルターが詰まっている	ガーデンホースを外し、フィルターを掃除し、すすいでください
	水の供給が不足	ガーデンホースの水を全開にしてください
スプレー圧が高から低に変化する	水の供給が不足	ガーデンホースの水を全開にしてください ホースに漏れ、詰まり、ねじれがないか点検します
	ガーデンホースの注入口フィルターが詰まっている	ガーデンホースを外し、フィルターを掃除し、すすいでください
	スプレーノズルが詰まっている	小さなワイヤーで粒子を取り除いてください (取扱説明書のメンテナンスセクションを参照)
	ポンプが空気を吸っている	すべてのホースとフィッティングを点検し、しっかりと締め付けられ、固定されていることを確認します。エンジンを切り、安定した水流が流れるまでトリガーガンを絞ってポンプをパージします
低圧洗剤洗浄が正しく機能していない	洗剤が濃すぎる	洗剤を薄めます
	スプレーワンドに高圧用ノズルが取り付けられている	洗剤は低圧簡単接続ノズル(黒)でのみ使用できます
	洗剤ホースがポンプハウジングに接続されていない	接続を確認します
	スプレーノズルが詰まっている	ノズルを清掃し、ゴミを取り除きます
	洗剤ホースのフィルターが詰まっている	温水で洗浄するか、交換してください
	洗剤排出バルブ(ポンプ内)が部分的に詰まっているか、動かない	ガンの引き金を素早く4~5回引いて離し、洗剤注入バルブを清掃します
	洗剤用ホースがポンプ出口の真鍮金具に接続されていない	洗剤用ホースをポンプ出口近くの洗剤注入口の金具に取り付けます
ガーデンホースの接続部からの水漏れ	金具が緩んでいる	締めなおします
	ゴムワッシャーの欠落/摩耗。	ゴムワッシャーを交換します
スプレーワンドの漏れ	スプレーワンドが正しく取り付けられていない	すべての接続を締めなおします
リコイルが引けない	ポンプを引く度、加圧されている	リコイルを2回引いた後、ガンの引き金を引いてポンプ圧を解放します